

ターペン可溶2液形シリコン系塗料

エス アイ

ニッペ

ファインSi

JIS A 6909 建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E/RE、複層塗材E/RE
防水形複層塗材E/RE、上塗材 耐候形1種
JIS K 5659
銅構造物用耐候性塗料 A種 上塗り塗料 2級(つや有りのみ)

ホルムアルデヒド放散級

F★★★★



現場に
これ1本



NIPPON PAINT CO., LTD.

※地域や色相により缶意匠が異なる場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

ターペン可溶2液形シリコン系塗料

エス エス
ニッペ ファインSi

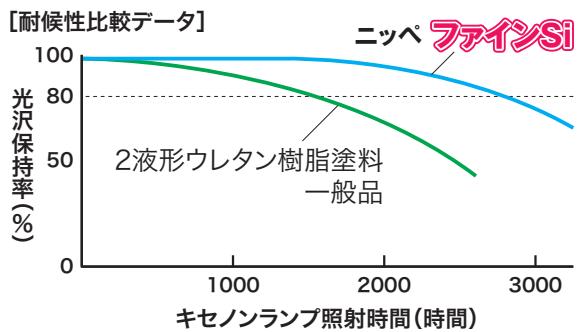


現場で活躍して、 オールマイティな使い方

特長

① 高耐候性 (耐候形1種の性能)

特殊処理技術を組み合わせた
高耐候性シリコン系塗料により
すぐれた耐久性を実現しました。



② 抜群の作業性・ 多目的用途

かぶり(隠ぺい性)がよく、塗装時の発泡が
なく、抜群の塗りやすさです。すばやく乾燥
するので、冬場の施工にも安心です。また、
各種外壁(サイディングボード・モルタルな
ど)、鉄部、FRP、硬質塩ビ部などの塗り替
えに幅広く適用できます。

③ 弹性仕様

外壁のひび割れに追従でき、各種弾性形
塗料の塗り替えに適応できます。
JIS A 6909防水形複層塗材E・REの
上塗り材としても対応しています。

④ 防藻・防かび性

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な
環境をまもります。

⑤ ターペン可溶

弱溶剤系であるため臭気がマイルドで、
さまざまな下地に塗装できます。

⑥ 低汚染性

親水化技術により、外壁の美観を損なう雨垂れ
汚染から建物をまもり、美しさを長持ちさせます。

⑦ 透湿性

透湿性が高いため結露から
建物をまもります。

標準塗装仕様

塗り替え

●各種外壁 吹付けタイル・窯業系サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5 0～10	はけ、ウールローラー ^{エアレススプレー}

※下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りにニッペファイン浸透シーラーを塗装してください。

●各種外壁(旧塗膜面) 微弾性フィラー(なみがた)を用いた塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペバーフェクトフィラー	1	0.50～0.90	4時間以上	水道水	1～5	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5 0～10	はけ、ウールローラー ^{エアレススプレー}

※ニッペバーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをお勧めします。
(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます)

●各種外壁(旧塗膜面) 下地の模様を生かした塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペバーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5 0～10	はけ、ウールローラー ^{エアレススプレー}

●木部の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	よごれ、付着物などをサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	ニッペ1液ファインウレタンU100木部用下塗	1	0.12～0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5～10	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5	はけ、ウールローラー

●コンクリート面・モルタル面 弾性フィラーを用いた高防水性仕様の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
中塗り① (下塗り)	ニッペDANフィラーEポ ^① (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80～1.30	4時間以上	水道水	0～3	砂骨ローラー
中塗り②	ニッペDANフィラーEポ ^② (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80～1.30	16時間以上	水道水	0～3	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5 0～10	はけ、ウールローラー ^{エアレススプレー}

注) 可とう形改修塗材RE、防水形複層塗材RE仕様の場合、つや有りのみ適用可能です。つや調整品の適用は避けてください。

●一般鉄部、金属素地系アルミカーテンウォール、金属系サイディングボードの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ハイポンファインプライマーII	1	0.16～0.18	4時間以上7日以内 ^{※1}	塗料用シンナーA	0～10 0～5	ウールローラー ^{エアレススプレー}
上塗り	ニッペファインSi	2	0.12～0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0～5 0～10	はけ、ウールローラー ^{エアレススプレー}

※一般鉄部には上記さび止め塗料以外に、ハイポン20デクロ、ニッペ1液ハイポンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、ニッペバーフェクトプライマーも使用できます。

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※1 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載しております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

※旧塗膜上塗りが一液形アクリル弾性の場合:メーカーによっては不具合(縮み)が起きる場合がありますので、その日のうちに2回塗りで仕上げてください。

新設

●コンクリート面 吹付けタイル仕上げ(JIS A 6909複層塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー透明	1~2 ^{※1}	0.16~0.20	4時間以上5日以内 ^{※2}	無希釈	—	ウールローラー、エアレススプレー
主材	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	1~2 ^{※3}	1.40~2.00 ^{※3}	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペファインS i	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

※上記下塗り以外に、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペファイン浸透シーラー ホワイト(JIS A 6909 下塗材相当)も使用できます。

●DANタイルの上塗りとして使用できます。(JIS A 6909防水形複層塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
中塗り	ニッペDANタイル中塗Sホワイト	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	タイルガン
模様吹き	ニッペDANタイル中塗Sホワイト	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
ヘッド押させ	必要に応じてヘッド押さえを実施する。						
上塗り	ニッペファインS i	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

※上記下塗り以外に、ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペニッペファイン浸透シーラー 透明、ニッペファイン浸透シーラー ホワイト(JIS A 6909 下塗材相当)も使用できます。

●コンクリート面 平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー(透明/ホワイト)	1~2 ^{※1}	0.16~0.20	4時間以上5日以内 ^{※2}	無希釈	—	ウールローラー、エアレススプレー
上塗り	ニッペファインS i	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

※上記下塗り以外に、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインシーラーも使用できます。

●一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、塵埃、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り	ハイポンファインプライマーII	1	0.16~0.18	4時間以上7日以内 ^{※3}	塗料用シンナーA	0~10	はけ、ウールローラー
						0~5	エアレススプレー
上塗り	ニッペファインS i	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

※一般鉄部には上記さび止め塗料以外に、ハイポン 20 テクロ、ニッペ1液ハイポンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、ニッペバーフェクトプライマー、ニッペエスパーウンエースも使用できます。

※さびが発生しやすい溶接部などの現場溶接部については、入念な下地調整後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載しております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

※1 ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み個所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

※2 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3 記載している主材の使用量は、塗り回数1~2回で使用するトータル量です。



性能表

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	主材・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
混合性	塗料と硬化剤が簡単に混ざること。	合格
作業性	刷毛、ローラー、スプレー作業に支障の無いこと。	合格
ポットライフ(h)	5時間で使用できるものとする。	合格
60度鏡面光沢度	80以上	合格
耐水性(23°C)	水に7日間浸漬しても異常が無いこと。	合格
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液に24時間浸漬しても異常が無いこと。	合格
促進耐候性	照射時間2500時間で塗膜に割れ・はがれ・ふくれがなく、光沢保持率は80%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。	合格
耐酸性	5%硫酸水溶液に7日間浸漬しても異常が無いこと。	合格

・製品安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

適用下塗り塗料

ニッペペーフェクトフィラー
ニッペペーフェクトサーフ
ニッペペーフェクトプライマー
ニッペファイン浸透シーラー
ハイポンファインプライマーII
ニッペ1液ファインウレタンU100木部用下塗
ニッペDANフィラーエポ
ニッペアンダーフィラー弾性エクセル

適用主材

ニッペタイルラックシリカ-SベースII
ニッペタイルラック1液EPO-Sベース
ニッペタイルラックEMA-Sベース 100K
ニッペDANタイル中塗Rホワイト/Sホワイト

塗装性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
ニッペファインSi	淡彩～濃彩	つや有り	16kgセット (塗料液14kg硬化剤2kg)	塗料用 シンナーA	0～5	0.12～0.14	はけ、ウールローラー
		7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り	3.2kgセット (塗料液2.8kg硬化剤0.4kg) 塗料液:硬化剤=7:1(重量比)		0～10		エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

※硬化剤を「防錆形硬化剤」に替えるだけで「ニッペ防錆形ファインSi」として使用することができます。詳細については専用カタログをご参照ください。

乾燥時間

	5～10°C	23°C	30°C
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	4時間以上	3時間以上	2時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

用途

外部壁面、 内外部鉄構造物など

適用下地

・コンクリート面(現場打ち) ・セメント建材系 ・塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ・モルタル仕上げ面 ・カラー鋼板(屋根除く)	・セメント建材系 ・A.L.Cパネル ・鉄部
--	------------------------------

ポットライフ(23°C時)

塗料液:硬化剤=7:1(重量比)に混合後 6時間

施工上の注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などでご確認ください)

- 「3~7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目に「つや有り」、2回目に「3~7分つや有り」をご使用ください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタンを使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リシン、弹性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていますことがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じことがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目粗し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- 貯水槽などで藻の発生を抑制するために遮光性能を必要とする場合は、下塗りおよび上塗りともに規定の使用量をおまもりください。使用量が不足すると遮光性能が低下しますのでご注意ください。なお、塗装することにより太陽光の透過を完全に遮断するものではありません。一部の太陽光が透過していても規定の使用量がまもられていれば、十分に藻の発生の抑制効果が得られます。
- つや調整品では、はげ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな個所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むらの原因になります。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリードにより)する場合がありますのでご注意ください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸入しないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜が塗料用シンナーで容易に溶解するつや有り塗料の場合は、縮みや膨れが発生するおそれがあるため、塗装は避けてください。弱溶剤1液形塗料や水性塗料での塗り替えをお奨めします。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み個所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi 500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイターンなどは除去し、目違い、ミヤンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください(合成樹脂エマルションバテの使用は避けてください)。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオブプライマ-を下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れます。シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 薄めすぎは隠べい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠べい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認ください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、弱溶剤タイプのピュアライトUVプロテクトクリヤーシリーズ(MK/DF/Si)を上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面积の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくて塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラーにより、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
 東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本および その他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2025 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

最新情報・お役立ち情報発信中

日本ペイント
公式LINE



カタログNo.
NP-D150
NS251004T
2025年10月現在